

体指よこすか

VOL. 6

平成21年3月24日
横須賀市体育指導委員協議会
発行責任者 中村 栄治



平成21年1月18日(日曜日)第63回三浦半島県下駅伝競走大会が、前日までの寒さが、少々和らいだ天候で、まずまずの駅伝日和の中行われました。コースは、昨年同様不入斗の横須賀アリーナをスタートして、葉山町・逗子市・三浦市と三浦半島を巡り横須賀総合高校まで5区間、トータル37.345kmで行われました。今年は、第1部市町村対抗の部12チーム第2部高等学校等の部6チームが参加しました。しかし、インフルエンザが猛威を奮いチームによっては、メンバーの何人かが欠場というアクシデントがあったようです。

私たち体育指導委員は、重点箇所強化メンバーを含み174名が走路員として指示された場所に立ち、右手に白い旗、左手に赤い旗を持って、選手の皆さんの走路の安全を確保します。場所によっては警察官等と協力し、周囲状況を把握し車両及び歩行者の整理にあたりました。我々森崎学区はペリー公園から開国橋までのゴール間近の最後の頑張りのところを、担当しました。金谷港からの定期船が入る度に車が一斉にペリー通りに出てきていましたが、まだ朝のうちでしたから車両の数も少なく、比較的スムーズに任務を行うことができました。

最近の健康ブームの影響か、中年夫婦・お父さんと娘さん・お母さんと息子さんが楽しそうに走っている姿が多く見られました。和やかな気分になっている間に、トップランナーが姿を現しますと、最後の力を振り絞ってラストスパートを掛ける姿に思わずファイト・ファイトガンバレと声をかけてしまいました。走ること・体を動かすことは本当に素晴らしいことです。

指導委員の皆さん！一人でも多くの人を巻き込んで、健康で楽しい地域づくりの推進者としてがんばりましょう。

広報部会副部長 石川輝雄(森崎学区)

平成20年度神奈川県 体育指導委員大会報告

去る、平成21年2月1日(日)綾瀬市文化会館にて、「平成20年度神奈川県体育指導委員大会」が綾瀬市長、神奈川県教育委員会副教育局長、県指導委員会役員、県下体育指導委員 1,100名の出席のもとに開催された。横須賀市からは各学区より34名が参加。

午前中はニュースポーツの紹介コーナーや城山公園ウォーキング、昼食を挟んで午後はアトラクションが行われた。綾瀬市立春日台中学校;和太鼓部、綾瀬市立綾北中学校:マーチングバンド部(2年連続全国大会で優勝)はいずれもすばらしい演奏で心にグッと感動を与えるものであった。

そして開会式や表彰があった。功労者表彰は県下より217名の方が表彰された。基調講演は「スポーツ指導者の話術」と題して人気番組の「高嶋ひでたけのおはよう中年探偵団!」そして現在は、「高嶋ひでたけの特ダネラジオ 夕焼けホットライン」のメインパーソナリティをつとめる高嶋秀武氏(横須賀市出身)であった。指導者として話のポイントは4つである。

① 普段から相手を良く観察し、わずかな成長をほめる。

(ボクシング井岡選手の例)

② 才能を開花させるには、相手の立場に自分を置き換えて話を聞く。

(イチロー選手、ディック・フォスベリー選手:走り高跳びで背面とびを最初にした人の例)

③ 運は育てるもの、待つものではない。

(将棋の米長名人の例)

人生は一手違いの勝負である。ほんのわずかな差である、マイナス思考を捨て取り組むこと。

④ メモをとる、話し合う。

(石川遼、横峯さくらの父の例)

今回の大会で多くのことに気づき、ヒントを得たので、今後横須賀や学区の中で生かしていく。今回の講演はコーチング的な要素が多かったが、

指導者として相手に理解させ、相手に気持ちよく行動を起こさせるようなコミュニケーション講座を開催した方が良いと感じた。

広報部会 林 但(富士見学区)

<受賞者一覧>

功労者表彰	石井 敏彦 (船越学区)
	中川 裕司 (長浦学区)
	石川 慎一 (逸見学区)
	入山 修 (逸見学区)
	渡邊 正彦 (逸見学区)
	小谷 憲治 (桜 学区)
	臼田 悟 (鶴久保学区)
	相樂 陽吉 (公郷学区)
	林 孝也 (公郷学区)
	岡部 秀敏 (公郷学区)
	三浦 満義 (馬堀学区)
	原 直一 (鴨居学区)
	田邊 昭己 (鴨居学区)
	長谷川 稔 (明浜学区)
	佐藤 英雄 (北下浦学区)
	嘉山 薫 (長井学区)
	村山 俊也 (武山学区)
	濱野 雅浩 (荻野学区)

※ 敬称は省略させていただきました。



ニュースポーツの紹介コーナー



城山公園ウォーキングのスタート風景

第49回

幕張メッセ

全国体育指導委員研究協議会

(千葉大会)に参加して

平成20年11月27日(木)～28日(金)全国より3,150名(内、神奈川県より162名)の体育指導委員が千葉・幕張メッセに会し、全国体育指導委員研究大会が行われた。横須賀市は12名(中村栄治会長ほか10名と事務局)が参加し、体育指導委員の目指す方向や生涯スポーツの今日的な課題について研究協議し、生涯スポーツの振興や体育指導委員の資質の向上を図った。

1日目(11月27日)は幕張メッセ「イベントホール」で、千葉県実行委員会会長篠田哲彦氏(千葉県体育指導委員連合会会長)の開式のことばで開会式が始まりました。文部科学大臣塩谷立氏、全国体育指導委員連合会会長齊藤斗志二氏の挨拶があり、植田千葉県副知事の歓迎のことばの後表彰式が行われました。

文部科学大臣表彰他 個人・団体 510

退任役員他感謝状贈呈 個人・団体 94

横須賀市からは武雅兄氏、山田昭子氏、丸山富雄氏が30年勤続表彰を受けられました。

アトラクション「よさこい鳴子おどり(NPO法人千葉よさこい連絡協議会)」で一息ついてから、シンポジウムに移った。

第一部の基調講演では、NPO法人ニッポンランナーズ理事長金哲彦氏が、「スポーツ指導者の役割とその重要性」～地域社会からトップスポーツまで～というテーマで、話をされました。

①指導者の重要性、対象者による対応の仕方、コーチと監督の違い、指導者の3要素

②指導者の素養、知識・情熱・意思のバランス特に、プレーヤと密接なコミュニケーションの必要性については、大変参考になりました。

第二部のパネルディスカッションは、基調講演を受けて、「スポーツを核にした地域づくり」をテーマに、金哲彦氏をコーディネーターとし、パネリストに、

順天堂大の野川春夫教授、びわこ成蹊スポーツ大の海老島均教授、早稲田大非常勤講師の山田ゆかり氏を迎えて行われた。

2日目(11月28日)は、

◇第1分科会「地域で高める子どもの体力」

◇第2分科会「総合型地域スポーツクラブの定着・支援」

◇第3分科会「住民ニーズに応える地域スポーツの推進に体育指導委員がどう役割を果たすのか」

◇第4分科会「生きがいづくりにつながる地域スポーツの姿」

の4つの分科会に分かれて事例発表と質疑応答が行われたが、横須賀市は国際会議室で行われた第4分科会に参加した。

コーディネーターに筑波大学大学院人間総合科学研究科教授の田中喜代次氏があたり、福井県立大学学術教養センター講師の石原一成氏と財団法人健康・体力づくり事業団の柳川尚子氏の2人による発表が行われた。

<運動による地域健康づくり>

①超高齢社会到来にともなう中高齢者の健康・体力づくりの(場所)地域

②健康づくりは個人では限界があり、専門家などの協力・地域で支え合い

③健康づくり運動を推進する人材育成と住民活動のネットワーク化

<生きがいづくりにつながる地域スポーツ>

①生きがいは人生の意義

②シニア体力アップステーション

について述べられました。

全体を通して、今回の研究協議会に出席して感じたことをまとめてみました。

※住民主体の健康づくりとは、公助(自治体が環境整備や人材育成などの支援)と共助(住民と自治体が連携し、協力し合う)である。

※具体的に実践していくためには、体育指導委員のさらなる活動が不可欠である。

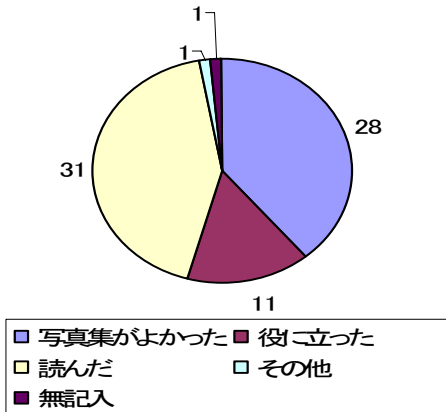
※身近な体育指導委員活動の情報交換の必要性を強く感じた。

押井秀夫(鷹取学区)

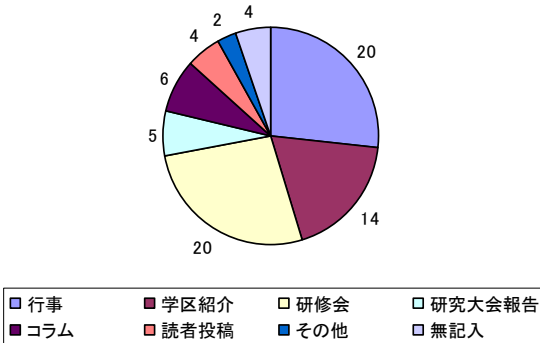
アンケート集計報告

5号発行時にご協力いただきましたアンケートを整理しましたので、報告いたします。320名全員に渡しましたが、回収総数は49名で回収率は15.3%でした。なお、学区数は16学区でした。

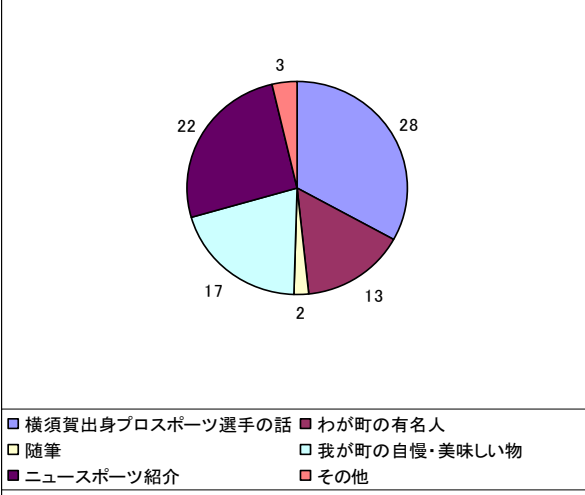
5号を読んだ感想



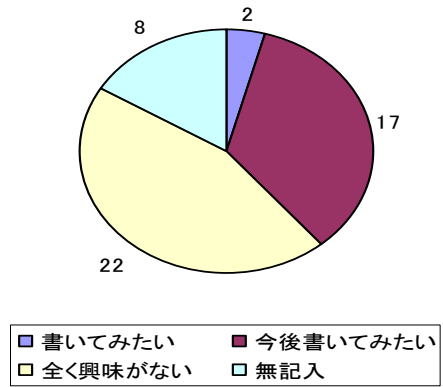
興味を持って読んだ記事



掲載を希望する記事



皆さんからの投稿



「参加役員の声」「他学区の紹介」等の記事に対する提案や紙面のレイアウトに関するご意見などをいただきました。また、情報交換・意見交換の場として重要とのご意見もいただきました。また、学校開放や体育指導委員の待遇に関するご意見もありましたので、教育委員会へ伝えておきます。いただいたご意見を参考に、今後の紙面作りに役立てたいと思います。
(広報部会)

神奈川県女性体育指導委員研修会に参加して

平成21年1月17日(土)三浦市総合体育館「潮風アリーナ」にて、平成20年度県連合会女性部会の研修会が開催されました。男性体育指導委員も多数参加し、約200名の参加者で、ミニバレーボール研修会が行われました。

陽光が差し込み、体育館内は真冬とは思えない暖かさでした。ネットは10基設置され、ゲームの進行及びルール説明等は、三浦市の体育指導委員やバレーボール協会の皆様より指導を受けました。バレーボールとソフトバレーボールを基にして三浦市ミニバレーボールのルールが作成されたとの事でした。ボールはビーチバレーのボールを使用し、怪我も少なく、必要用具も低価格という観点から生涯スポーツとして、楽しく、地域のスポーツ、レクリエーション行事に最適かも知れません。

横須賀市からは女性が4名参加し、中村会長、武副会長にも同行して頂きました。三浦市ミニバレーボール大会用ルールを必要な方は、事務局へお問い合わせください。

庶務 川上美津江(神明学区)